

# 森林利用 I

エネルギー利用～針葉樹の薪

日時：平成24年9月22日（土） 13:00～15:00  
講師：木平 英一（(株)DLD バイオマスエネルギー事業部統括）

## 概況



株式会社 ディーエルディー

- ・薪ストーブの販売・施工を行っている。本社は長野県伊那市。
- ・森林の活用をビジネスとして行うため、2007年からストーブ用薪の宅配サービスを行っている。
- ・薪の原木はNPO、森林組合、個人の持ち込み。樹種を問わず6000円/m<sup>3</sup>で買取っている。持ち込まれる樹種はカラマツ、アカマツなどの針葉樹の間伐材が多い。薪にしたものを希望する家庭に配達している。薪の配達を希望する家庭には専用のラックを設置してもらい、ラックから減った薪を補充している。配達時に伝票を発行し、月ごとに口座振替で支払いは行われる。2011年度は長野・山梨・仙台で計720軒に15万束相当の薪を販売している。
- ・森林にプラスになる薪利用のため、薪の宅配サービスは、現在森林に多く存在する針葉樹の、主に間伐材を燃料として流通させる仕組みづくりを試みている。「針葉樹の薪は燃料として適さない、薪は広葉樹でなくてはならない」と考えている人が多い。針葉樹の薪を配達することでそうした人にも針葉樹の薪を利用してもらい、さほど燃料としての差がないことを知ってもらうことにもつながる。

・薪の宅配システムは、生産コストの低い再生可能なエネルギーとして、灯油など既存の燃料に対抗しようとする取り組みでもある。生産に大規模な施設を必要としない薪の特性を利用して、地産地消の小規模な仕組みを数多く作ることで、地域の実情に合った供給体制を作ることができる。また、地域の資源と労働力をお金にして還元し、地域社会に還元することができる。これらの仕組みを上手く動かしていくためには、薪ストーブを普及させることが必要である。

・現在の薪ストーブは、二次燃焼装置などにより効率の良いものである。また、1台で家全体の暖房を行うことができる。価格は設置費用を含めて100万円程度。住宅を新築する際に設置する家庭が多い。長野県では薪ストーブが推定3万台以上あることになる。長野県の調査によると、薪ストーブを利用する家庭の54%が薪を購入しておらず、薪は買わずに作るものという家庭がまだ多い。しかし、自分の山が無くても薪ストーブを購入する家庭が増えているため、薪宅配の需要は増えると考えている。薪ストーブにより、ユーザーと森をサービスとお金の緩やかな関係でつなぐことができると考えている。